

経営比較分析表（令和4年度決算）

岐阜県下呂市 下呂市立金山病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ド透訓	救へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
30,118	6,954	第2種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
50	49	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	99
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
34	27	61

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

南飛騨地域の中核病院である下呂温泉病院から約30km南に位置し、この地域における医療提供体制を整え、誰もが安心・安全に暮らせる拠点として機能している。
令和2年度からは発熱外来診療を開設し、現在も継続し診療・検査医療機関としての役割を果たしながら、患者の精神的な不安を緩和するとともに迅速で適切な診療体制の維持に努めるとともに、コロナ患者受け入れ病院の後方支援や一般医療のほか救急医療においても市立病院の使命として地域医療の貢献に努めています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

一般病棟が担う急性期医療と療養病棟が担う回復期医療の特性が活かせるよう他病院等との連携強化を図りながら病床利用率の向上を目指してきましたが、10月から外科医師が1名減となったことや人口減少、常勤医師の不足などで、病床利用率が下がり大きな減収となった。収益の減収に伴い運転資金として民間金融機関から40,000,000円の一時借入れを行い資金運用に充てた。

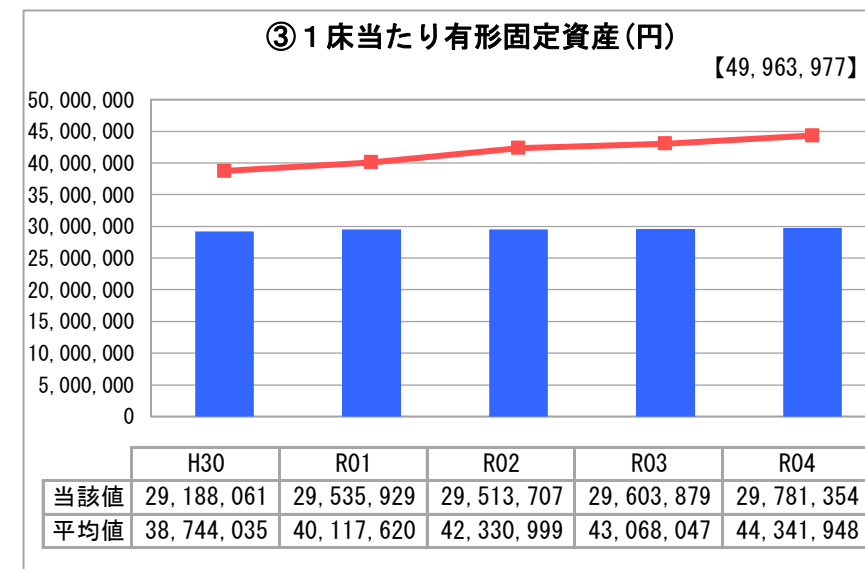
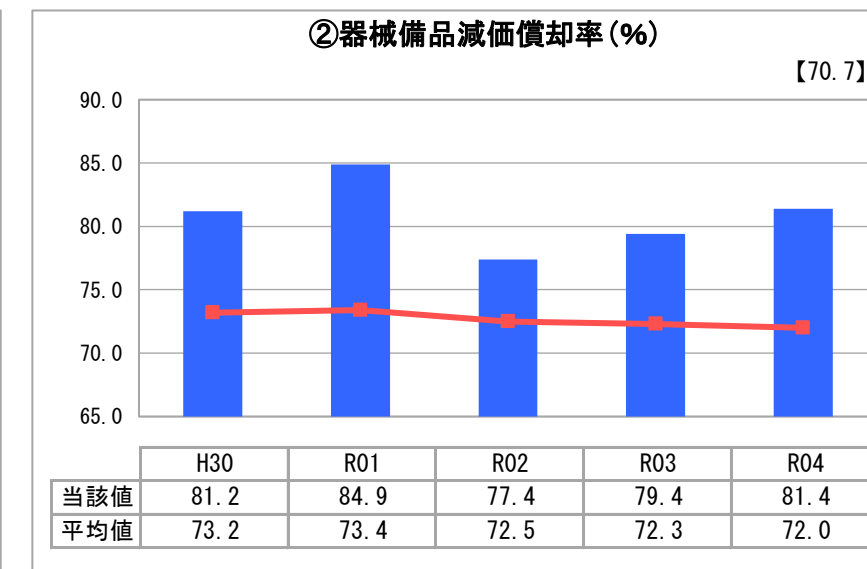
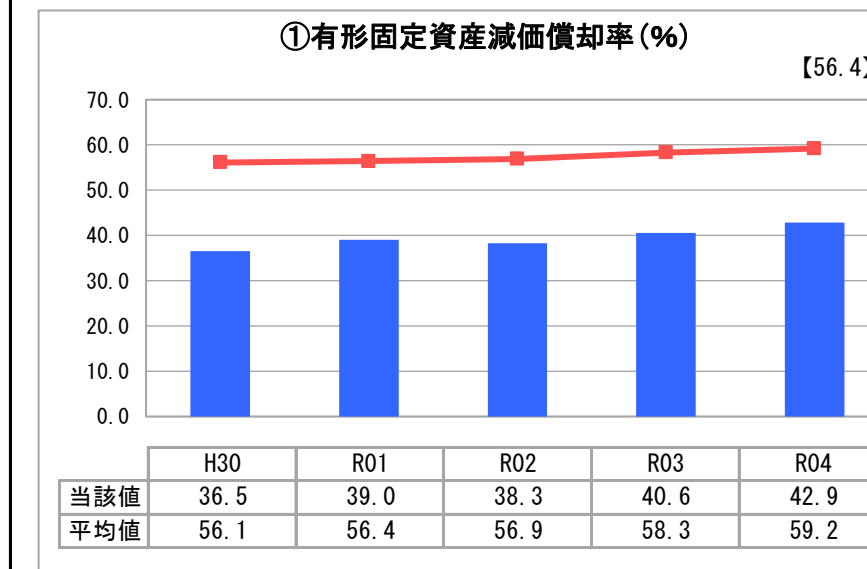
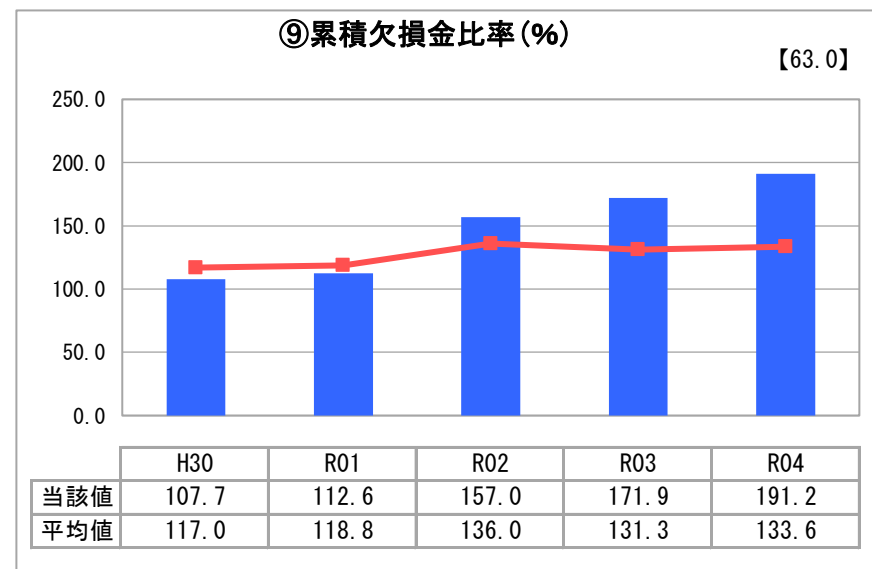
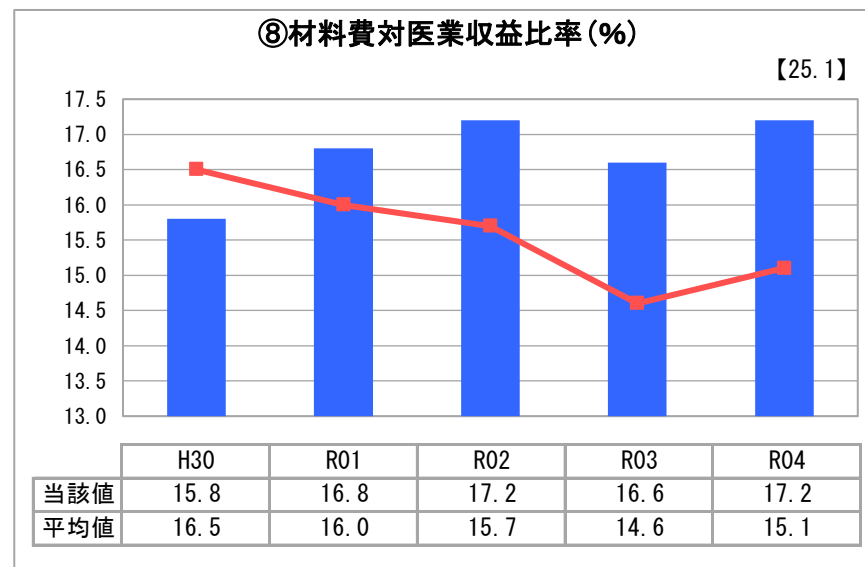
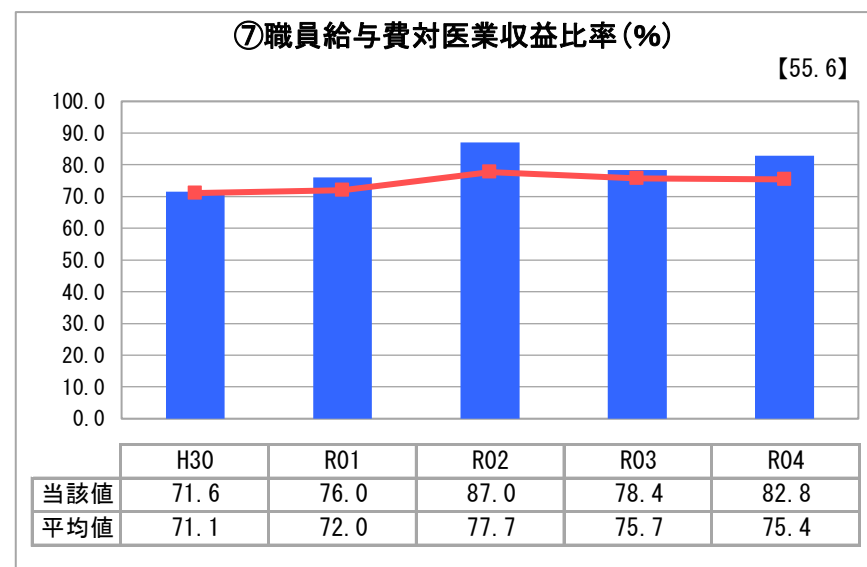
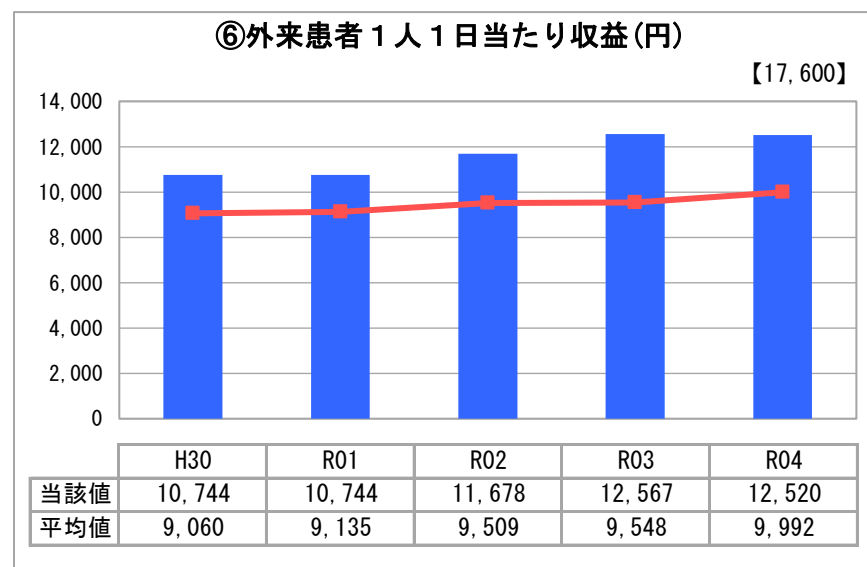
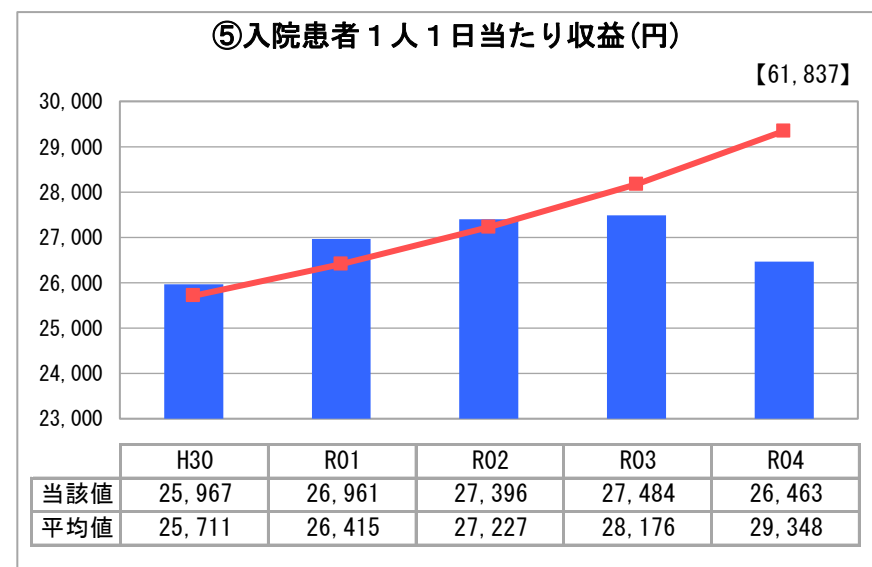
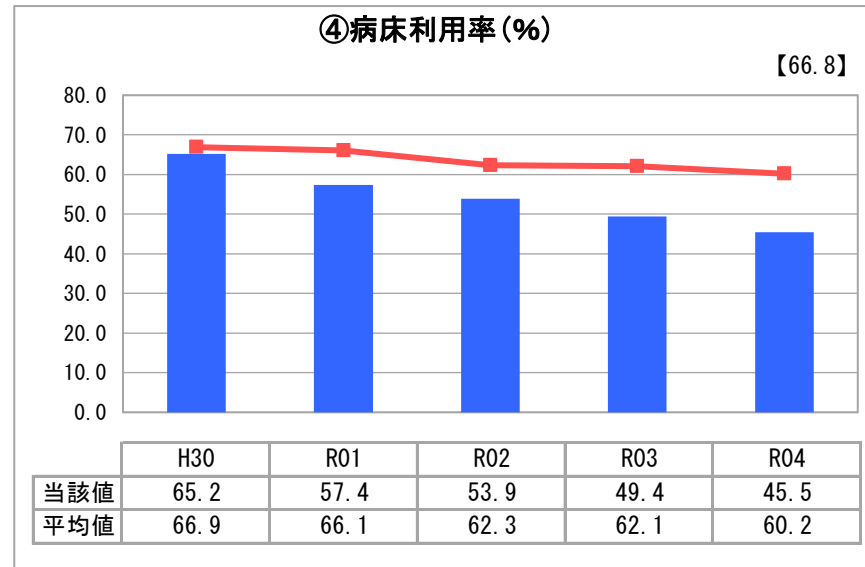
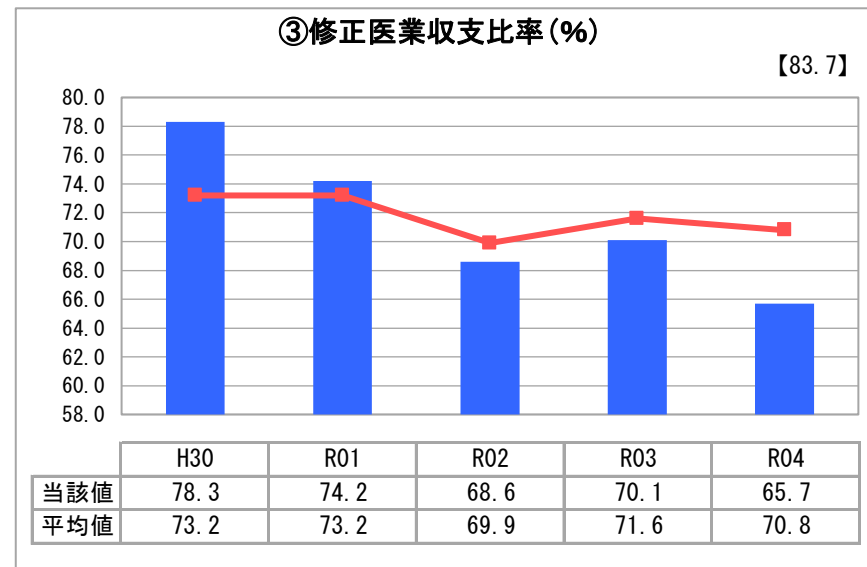
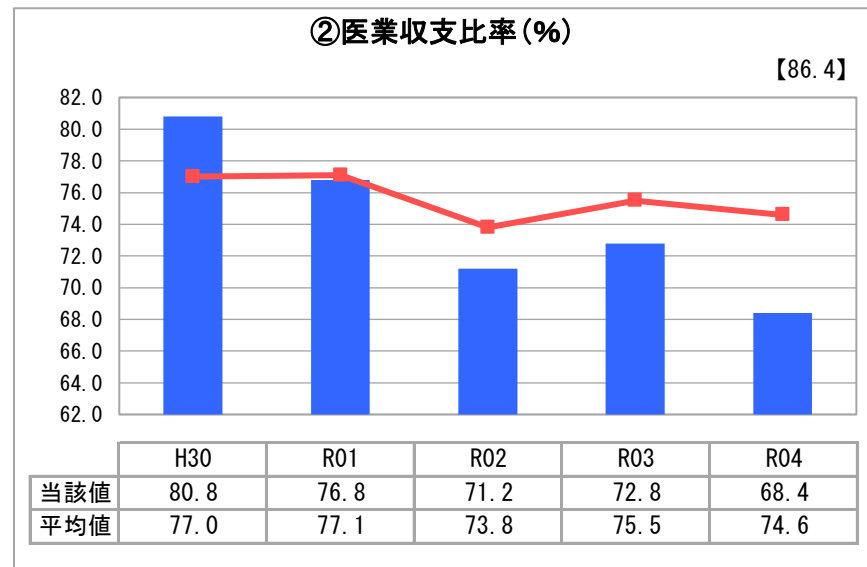
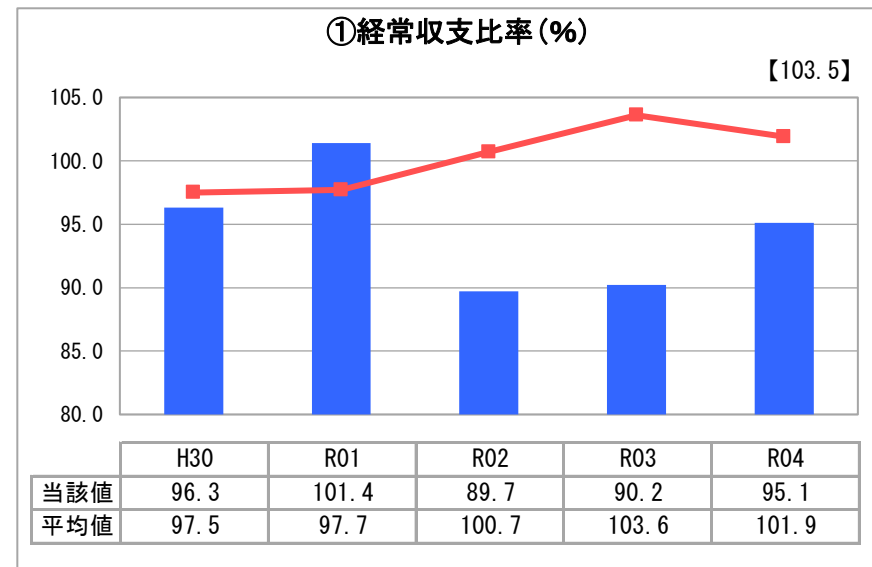
2. 老朽化の状況について

建物については平成24年に新築し10年ほど経過しており、徐々に空調設備などの施設機器の故障が発生してきている。また医療機器等については、旧病院から引き継いで使用しているものもあり、経年劣化等による更新が必要となっている。
このことから、施設機器については保守点検を重視しながら修繕を行い、医療機器購入に当たっては、収支バランスを踏まえながら計画的な更新を行っている。

全体総括

常勤外科医師の減員や長引く新型コロナウイルス感染症拡大の余波を受け、医療収益が大幅に減収となり、令和2年度、3年度と2年続けて特別減収対策企業債の借入れを行ってきたが、令和4年度は電気代の高騰などから経費が増加したことを受け、市一般会計から約5,200万円の追加繰入を受けた。しかし最終的には運転資金として民間金融機関から4,000万円を借り入れた。
市立病院としての使命を認識し、一般医療のほか救急医療、新型コロナウイルス感染症の検査・診察を行う発熱外来や逼迫するコロナ患者受入病院の後方支援を行うなど、地域医療の貢献に努めているところである。
非常に厳しい経営状況の中、令和3年度にまとめた公立病院経営強化プランの基本的な考え方を踏まえ、病院・病床機能の見直しや新規事業参入などの検討を行いながら中長期的な方向性を定め、安心して医療を受けることができる持続可能な病院運営を目指す。

1. 経営の健全性・効率性



※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。